

## 【資料１】金利指標をめぐる各国および国際的な動向：最近の主な動き

### １．代替指標の選定・構築

#### [米国]

- 2018 年 3 月に公表された移行計画（Paced Transition Plan）では、2021 年末までに一部キャッシュ商品への利用を念頭に、SOFR を参照する先物又は OIS に基づく先決めのターム物金利の構築を展望。
  - SOFR を参照する先物の上場や OIS の清算が開始されたほか、SOFR を参照する変動利付債（金利後決め）の発行がみられるなど、移行計画対比、前倒しで進捗。
- 2018 年 10 月、ARRC は、2019 年 1Q に SOFR 参照先物に基づくターム物金利を参考値ベースで計算・公表することを発表。但し、SOFR 参照先物市場の取引活性化が課題と認識されている。

#### [英国]

- 2018 年 7 月、WG は、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議を実施し、OIS 市場の確約気配値をベースとする手法が適当との結論を提示。WG は、2019 年下半期に SONIA を参照するターム物金利が利用可能となることを展望。
  - 市中協議の結果、ターム物金利は、貸出等の一部商品については SONIA への移行を促す上で有用であるものの、デリバティブにおける利用については、SONIA を直接参照する OIS 取引等の減少に繋がらないよう制限されるべきとの意見が多数。
  - この間、SONIA を参照する先物の上場や OIS の清算が開始されたほか、SONIA を参照する変動利付債の発行や証券化商品の組成・販売が進んだ（いずれも金利後決め）。
- 2018 年 12 月、WG は、市中協議の結果を踏まえ、今後のステップについて公表。現在の LIBOR 利用者の多くにとっては、キャッシュ商品を含め、SONIA を直接参照する金利の方が、SONIA を参照するターム物金利より適切であるとし、ターム物金利の構築状況に拘らず、可能な限り LIBOR からの移行を進めることを勧奨。

## [スイス]

- 2018 年 6 月、WG は、SARON を参照するターム物金利の構築方法について、市場参加者から意見を募集。その後もターム物金利構築の実現可能性について、検討を継続。  
—— この間、SARON を参照する先物の上場や OIS の清算が開始。
- 2018 年 10 月、WG は、現在の市場の状況等に鑑み、SARON を参照する先物や OIS 市場に基づく頑健なターム物金利の構築は困難と判断し、可能な限り SARON 複利の利用を推奨することを決定。今後は、SARON 複利の利用に伴う課題への対応等を中心に検討を行う予定。

## [EU]

- WG は、EU ベンチマーク規則 (BMR) に適合する見込みのない EONIA から、ESTER へ移行する方法について議論を進め、2018 年 12 月、市中協議文書を公表。  
—— もっとも、ECB による ESTER の公表開始期限が 2019 年 10 月の予定となっており、BMR 上の移行期限である 2019 年末までに必要な認可を受けられない恐れがあることから、WG は、当該期限を 2 年間延長するよう EU 共同立法者に要望。
- EURIBOR については、BMR の遵守に向け、頑健性向上のための改革が進められており、2019 年中の認可申請を予定。
- 2018 年 12 月、WG は、EURIBOR のフォールバック・レートとして、ESTER を参照するターム物金利に関する市中協議文書を公表し、ESTER を参照する OIS 市場の確約気配値に基づく手法が最も妥当である可能性が高いとの結論を提示。

## 2. ISDA 市中協議の結果

- 2018 年 12 月、ISDA がフォールバックに関する市中協議結果を公表。タームの調整方法については、圧倒的多数が、後決め複利を支持。スプレッドの調整については、大多数が過去の平均値・中央値アプローチを支持。

### 3. ヘッジ会計

#### [米国]

- 2018 年 10 月、FASB が、SOFR に基づく OIS 金利をヘッジ会計目的のベンチマークとして追加する旨の会計基準のアップデートを公表。

#### [英国]

- 2018 年 12 月、IASB が、金利指標改革が財務報告に与える影響に関して調査した結果を踏まえ、①基準設定作業に進むこと、及び、②IASB 理事会が今後の動向を踏まえて速やかに対応できるよう、課題の分析作業の優先順位付けをすることを決定。

### 4. 監督当局の対応

#### [英国]

- 2018 年 9 月、PRA と FCA が、主要な銀行及び保険会社の経営陣に対して、LIBOR の公表停止によって生ずる主要なリスクの評価と代替指標への移行に向けた具体的な計画の策定を求めるレターを発出。

#### [スイス]

- 2018 年 12 月、FINMA が監督対象の金融機関向けのガイダンスを公表。LIBOR の移行に関するリスクの洗い出し状況について 2019 年 1 月以降ヒアリングを実施するほか、ストレステストで用いる金利指標を LIBOR から変更する方針である旨発表。

以 上

**【参考】金利指標をめぐる各国および国際的な動向**

—— シャドー部分は今後実施予定の事項

【英国】（WG 会合は 1～2 か月に 1 回程度開催）

2017 年	4 月	SONIA を RFR に特定
	7 月 27 日	FCA ベイリー長官が、2021 年末以降は、LIBOR 維持のためにパネル行にレート呈示を強制する権限の行使は行わない旨を表明
	11 月 24 日	FCA が、各通貨の LIBOR パネル行と交渉した結果、20 行が 2021 年末まで自主的にレートを呈示することに合意した旨を公表
2018 年	1 月	再編された WG が始動 — シ・ローンおよび債券に関する SG を新設
	3 月 14 日	FCA が LIBOR のパネル行に対しレート呈示を強制する権限に関するポリシーペーパーを公表 — 代替指標への移行進捗により、2021 年末において同権限の行使は不要となるとの立場を表明
	3 月 17 日	IBA が LIBOR のウォーターフォール構造 <sup>(注)</sup> に関する検証結果を公表
	3 月 28 日	WG 会合 — コミュニケーション・教育・アウトリーチおよび SONIA への移行状況を把握するための基準の構築に係る SG の新設を合意
	4 月 23 日	・ BOE が SONIA 改革を完了 ・ LCH が改革後の SONIA 参照 OIS を清算対象に指定
	4 月 25 日	IBA が報告書（ICE LIBOR Evolution）を公表 — LIBOR のウォーターフォール構造の導入完了時期を「2018 年中」→「2019 年第 1 四半期まで」に先送り — 2022 年末以降も LIBOR を存続させることを検討するが、全ての通貨・テナーを維持するとは限らない旨表明
	4 月 30 日	LSE が SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 1 日	ICE が SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 22 日	欧州投資銀行（EIB）が、SONIA を参照する 5 年の変動利付債を発行
	7 月 17 日	WG が SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：10 月 26 日〕 — ターム物金利は、OIS 市場の確約気配値を基に構築することが適当との WG の結論を提示
	7 月 23 日	WG が LIBOR を参照する新発債に関するペーパーを公表 — 発行体・アレンジャー・投資家（債権者）が LIBOR を参照するポンド建ての新発債が抱える潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表

7月25日	BOEがSONIAのIOSCO原則への適合状況に関する文書を公表
8月20日	WG会合 — 市場インフラに関するSGの設置について発表 — WG議長および副議長が米国ARRC傘下に設置されたCross-Currency Basis Swap Subgroupに出席した旨を報告 — IASB宛に、LIBORからの移行に関する調査プロジェクトの立ち上げを歓迎し、移行に伴う会計上の問題に関してIASBと緊密に連携する旨を表明するレターを送付することについて合意
9月19日	PRAとFCAが、主要な銀行および保険会社の経営陣に対して、LIBORの公表停止によって生ずる主要なリスクの評価と代替指標への移行に向けた具体的な計画の策定を求めるレターを発出〔回答期限：12月14日〕
9月21日	WG会合 — 債券SGがO/N SONIA複利を参照するための市場慣行についての市中協議文書を起案中（シ・ローンSGも参加） — シ・ローンSGが2021年末以降に満期を迎えるLIBOR参照ローンを取引することに伴うリスクに関するペーパーを起案中
10月1日	CMEがSONIAを参照する先物（Quarterly IMM/MPC）を上場
10月10日	IBAが先物金利を用いたSONIAに基づくターム物金利算出方法等に係る報告書を公表
10月16日	WGが新規のシ・ローン契約等における代替指標への移行を容易化するための条項の雛形（LMA作成）を公表
11月23日	WGがSONIAを参照するターム物金利に関する市中協議の結果の概要を公表 — ターム物金利は、貸出等の一部商品についてはSONIAへの移行を促す上で有用であるものの、デリバティブにおける利用については、SONIAを直接参照するOIS取引等の減少に繋がらないよう制限されるべきとの意見が多数 — OIS市場を基にターム物金利を構築する方向性は支持されたが、OIS市場の参加者の増加・多様化による流動性向上が必要であるとの意見や、代替的手法として先物市場のデータを補完的に活用することを支持する意見が多数
12月12日	IASBが、金利指標改革が財務報告に与える影響に関して調査した結果を踏まえ、①基準設定作業に進むこと、および、②今後の動向を踏まえて速やかに理事会が対応できるよう、課題の分析作業の優先順位付けをすることを決定
12月14日	ロイズ・バンキング・グループが、SONIAを参照する証券化商品（住宅ローン債権担保証券）を組成・販売
12月20日	・インフラ・システムに関するワークストリームが、暫定的な優先順位リストを公表 ・LCHが、ISDAによるIBORフォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を踏まえた今後のデリバティブ商品の清算に係る方針について発表
12月21日	WGが新規及び既存の貸出契約に関するペーパーを公表 — LIBORを参照するポンド建ての新規及び既存の貸出契約の関係者が、潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表
12月24日	WGがSONIAを参照するターム物金利に関する市中協議の結果を踏まえた今後のステップについて公表

		— 現在のターム物 LIBOR 利用者の多くにとっては、キャッシュ商品を含め、SONIA を直接参照する金利の方が、SONIA を参照するターム物金利より適切であるとし、ターム物金利の構築状況に拘らず、可能な限り LIBOR からの移行を進めることを勧奨。
2019 年	1 月 31 日	WG がインフラに関するフォーラムを開催
	年末まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SONIA を参照する変動利付債、貸出、その他の商品についてシステム等を構築</li> <li>・ SONIA を参照するターム物金利の構築が完了し、利用可能となる（市中協議の結果に服する）</li> <li>・ 英ポンドのフォールバック条項について合意し、実施開始</li> <li>・ SONIA への移行状況を把握するための基準において、デリバティブ、債券、および貸出市場の新規取引における SONIA 採用が顕著に増加したことが示される</li> </ul>
2020-21 年		代替指標への移行およびフォールバックに係る計画の導入を完了

（注）より実取引に依拠したレートであることを確保するため、呈示レートの決定根拠について優先順位を設け、順位の高いものから使用していく手法。LIBOR では、実取引（レベル 1）、実取引に基づく推計値（レベル 2）、専門家判断（レベル 3）の 3 段階でレートを決定。

【EU】（WG 会合は 2 か月に 1 回程度開催）

2018 年	2 月 2 日	WG 設置を公表
	2 月	EMMI が EONIA の改革を断念
	3 月 15 日	ECB が無担保翌日物金利（ESTER）の第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：4 月 20 日〕
	3 月 26 日	EMMI が EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議文書を公表〔コメント期限：5 月 15 日〕
	5 月	ECB が ESTER の第二次市中協議に係る結果を取りまとめ
	6 月 21 日	WG が RFR の候補に係る市中協議文書を公表〔コメント期限：7 月 13 日〕 — 候補は、①ESTER、②GC レポレート（GC Pooling Deferred）、③レポレート（RepoFunds Rate）
	6 月 28 日	EMMI が EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議の結果を公表
	7 月 11 日	WG 会合 — EONIA からの移行に係る SG の設置を決定
	8 月	RFR の候補に係る市中協議で寄せられたコメントについて公表 — 66 の回答先のうち、58 が ESTER が RFR として最適と回答
	9 月 13 日	WG 会合 — ESTER を RFR に特定 — SG が RFR に基づくターム物金利の選択肢のプロコンを整理
	10 月 17 日	EMMI が EURIBOR のハイブリッド方式に係る第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 30 日〕
	10 月 18 日	WG 会合 — WG が EU 共同立法者に対し、クリティカルベンチマークに関して、EU ベンチマーク規則上の移行期限を 2 年間延長すること等を要望した旨報告 — ターム物金利につき、市中協議の実施に向け、検討の焦点を OIS の気配値ベースと先物ベースに絞ることを決定 — Composite 手法（取引量が閾値以上の場合は、当該実取引を、それ未満の場合は、気配値をデータとして参照する手法）について追加分析することを決定
	11 月 9 日	アウトリーチのためのラウンドテーブル開催
	12 月 3 日	EMMI が EURIBOR の 2W、2M、9M のテナーを廃止（6 月 6 日発表）
	12 月 19 日	・ WG が EURIBOR のフォールバックとなるターム物 ESTER の構築に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：2019 年 2 月 1 日〕 — ターム物金利の構築手法としては、OIS 市場の確約気配値に基づく手法が最も妥当である可能性が高いとの結論を提示 ・ WG が EONIA から ESTER への移行に関するレポートを公表〔コメント期限：2019 年 2 月 1 日〕

2019 年	2 月 27 日	WG がターム物 ESTER の構築に関する市中協議の結果を公表
	10 月まで	ECB が ESTER の日次公表を開始
	2Q まで	EMMI がベルギー当局（FSMA）に対し、EU ベンチマーク規則に基づき、ハイブリッド方式を用いた EURIBOR の運営者として認可を申請
	4Q まで	EMMI が EURIBOR の改革を完了
	年末	EU ベンチマーク規則上の移行期限



【スイス】（WG 会合は年に 3 回程度開催）

2017 年	10 月 5 日	WG 会合 — SARON を RFR に特定
	10 月 9 日	Eurex Clearing が SARON 参照 OIS を清算対象に指定
	10 月 16 日	LCH が SARON 参照 OIS を清算対象に指定
2018 年	1 月 11 日	WG 会合 — デリバティブ・債券、および、ローン・デポジットに係るサブ WG を設置
	6 月 4 日	WG 会合 — SARON を参照する先物として 3 か月物を提言することを決定 — SARON を参照するターム物金利に係る望ましい構築方法とその理由について、全市場参加者から意見を募集〔回答期限：7 月 31 日〕
	6 月 22 日	・ WG が 3 か月物 SARON 先物に係るタームシートの推奨例を公表 ・ WG がスイスの事業法人向けのアウトリーチのための文書（アンケート調査を含む）を公表〔回答期限：9 月 30 日〕 — アンケート結果を基に事業法人向けのワークショップを開催予定
	10 月 29 日	Eurex が SARON を参照する 3 か月先物を上場
	10 月 31 日	WG 会合 — 現在の市場の状況等に鑑み、SARON を参照する先物や OIS 市場に基づいて頑健なターム物金利を構築することは現状では困難と判断し、可能な限り SARON 複利をターム物金利として利用することを推奨することを決定（WG は SARON デリバティブ市場の発展を注視し、将来的に状況が変化した場合には、デリバティブを用いたレートをフォールバックとするかを再検討する可能性） — SARON の運営機関である SIX が、各テナーの SARON 複利レートを数か月以内に公表する予定である旨紹介 — 新規のリテール貸出に係るフォールバック条項の雛形について議論
	11 月 14 日	LIBOR から SARON への移行のための実務体制に関する市場参加者向けチェックリストを公表し、意見を随時募集
	12 月 17 日	FINMA が監督対象の金融機関向けのガイダンスを公表し、LIBOR の移行に関するリスクの洗い出し状況について 2019 年 1 月以降ヒアリングを実施するほか、ストレステストで用いる金利指標を LIBOR から変更する方針であると発表

【米国】（ARRC 再編＜18/3 月＞後は、ARRC 会合は月に 1 回程度開催）

2017 年	6 月 22 日	ARRC 会合 — SOFR を RFR として特定
	8 月 1 日	ARRC 会合 — 新たなサブグループ（WG）設置の必要性について議論
	9 月 29 日	ARRC 会合 — 5 つの WG（市場構造、規制、ターム物金利構築、商品別、法務）を設置
	10 月 31 日	ARRC 会合 — 移行計画（Paced Transition Plan）について合意され、会計・税制に関する WG 設置がされたほか、ARRC 再編についても議論が行われた
	11 月 2 日	ラウンドテーブル開催
2018 年	2 月 20 日	FASB が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加する案について、市中協議の実施を公表〔コメント期限：3 月 30 日〕
	3 月 5 日	第 2 次報告書を公表 — SOFR 特定の経緯、移行計画の概要、キャッシュ商品のフォールバック・移行に関する課題等について言及
	3 月 7 日	再編された ARRC が始動 — メンバーシップを拡充。既存分を含む 11 のサブグループのメンバーが確定
	4 月 3 日	NYFed が SOFR 公表開始
	5 月 7 日	CME が SOFR の 1 か月および 3 か月先物を上場
	7 月 9 日	ARRC が、キャッシュ商品のフォールバック条項が満たすべき原則を公表
	7 月 12 日	ARRC が、米国金融当局宛てに、代替指標を参照するデリバティブ契約について追加的な規制を課さないよう協力を求めるレターを発出
	7 月 16 日	LCH が SOFR 参照 OIS の清算を開始
	7 月 19 日	ラウンドテーブル開催
	7 月 24 日	ARRC 会合 — 市中協議実施に向け変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言等について議論
	7 月 26 日	ファニーメイが、SOFR を参照する 6 か月、12 か月、18 か月の変動利付債を発行
	8 月 29 日	FASB 理事会が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加することを暫定的に決定

	9 月 20 日	ARRC 会合 — 市中協議、SOFR の利用促進等について議論
	9 月 24 日	ARRC が変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 26 日〕 — 今後他の商品（証券化商品、相対ローン、消費者向け商品）についても同様の市中協議を実施予定である旨付言
	10 月 1 日	CME が SOFR 参照 OIS の清算を開始
	10 月 18 日	ARRC 会合 — 相対ローンおよび証券化商品に係る市中協議発出に向けた進捗、SOFR の流動性向上に係る進捗等について議論
	10 月 25 日	FASB が、SOFR に基づく OIS 金利をヘッジ会計目的のベンチマークとして追加する旨の会計基準のアップデート（ASU No. 2018-16）を公表 — 適用開始日は、①2018 年 12 月 15 日以降の会計年度（ヘッジ会計に係る ASU No. 2017-12 対応済みの上場企業の場合）、②2019 年 12 月 15 日以降の会計年度（それ以外の ASU No. 2017-12 対応済みの企業・団体の場合）。
	10 月 29 日	ARRC が変動利付債のフォールバック条項の文言にかかる市中協議の FAQ を公表
	10 月 30 日	ARRC が Transition from U.S. Dollar LIBOR - Timeline を公表
	12 月 5 日	ARRC 会合 — 変動利付債およびシ・ローンに関する市中協議の回答結果のほか、公表予定の相対ローンおよび証券化商品の市中協議や既存キャッシュ商品に対する法的救済措置に向けた検討要否等について議論
	12 月 7 日	・ ARRC が相対ローンおよび証券化商品に係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：2 月 5 日〕 ・ ARRC が変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書について寄せられた回答を公表
2019 年	1 月 15 日	ARRC 会合 — 今後公表予定分を含む市中協議の進捗等について議論
	1Q	ARRC が SOFR を参照する先物に基づくターム物金利の参考値を計算して公表
2020 年	1Q	PAI の算出・割引率に使用する金利に SOFR を追加
2021 年	2Q	PAI の算出・割引率に EFFR を使用する新規スワップ取引の清算停止
	年末まで	SOFR を参照したデリバティブ市場に基づくターム物金利の構築

## 【国際的な取組】

2013 年	7 月 17 日	IOSCO（証券監督者国際機構）が、「金融指標に関する原則」（IOSCO 原則）を公表
2014 年	7 月 22 日	FSB が「主要な金利指標の改革」と題する報告書を公表
2017 年	10 月 10 日	FSB が金利指標改革に関する第 3 次進捗報告書を公表
2018 年	1 月 5 日	IOSCO が指標利用者へのステートメントを公表
	2 月 1 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、グローバルな RFR への移行に関するロードマップ報告書を公表
	6 月 25 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、RFR への移行に関するサーベイ結果を公表
	7 月 12 日	・ ISDA が IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議を公表〔コメント期限：10 月 22 日〕 ・ FSB が RFR と RFR ベースのターム物金利構築の重要性に関するステートメントを公表
	10 月 10 日	IBA が主要通貨の RFR について公表開始
	11 月 14 日	FSB が金利指標改革に関する第 4 次進捗報告書を公表
	12 月 20 日	ISDA が IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を公表 — タームの調整方法については、圧倒的多数が後決め複利を支持。スプレッドの調整については、大多数が過去の平均値・中央値アプローチを支持。
2019 年	年末まで	ISDA が米ドル LIBOR に係る IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議を公表予定
〔未定〕		ISDA がユーロ LIBOR および EURIBOR に係る IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議を公表予定

## <リンク集>

### 【英国】

Sterling RFR WG	<a href="https://www.bankofengland.co.uk/markets/transition-to-sterling-risk-free-rates-from-libor">https://www.bankofengland.co.uk/markets/transition-to-sterling-risk-free-rates-from-libor</a>
BOE	<a href="https://www.bankofengland.co.uk/">https://www.bankofengland.co.uk/</a>
PRA	<a href="https://www.bankofengland.co.uk/prudential-regulation">https://www.bankofengland.co.uk/prudential-regulation</a>
FCA	<a href="https://www.fca.org.uk/">https://www.fca.org.uk/</a>
IASB (IFRS)	<a href="https://www.ifrs.org/projects/">https://www.ifrs.org/projects/</a>
LCH	<a href="https://www.lch.com/home">https://www.lch.com/home</a>
LSE	<a href="https://www.londonstockexchange.com/home/homepage.htm">https://www.londonstockexchange.com/home/homepage.htm</a>
ICE	<a href="https://www.theice.com/index">https://www.theice.com/index</a>

<b>IBA</b>	<a href="https://www.theice.com/iba">https://www.theice.com/iba</a>
<b>CME</b>	<a href="https://www.cmegroup.com/">https://www.cmegroup.com/</a>
<b>EIB</b>	<a href="http://www.eib.org/en/index.htm">http://www.eib.org/en/index.htm</a>
<b>【EU】</b>	
<b>WG on euro RFR</b>	<a href="https://www.ecb.europa.eu/paym/initiatives/interest_rate_benchmarks/WG_euro_risk-free_rates/html/index.en.html">https://www.ecb.europa.eu/paym/initiatives/interest_rate_benchmarks/WG_euro_risk-free_rates/html/index.en.html</a>
<b>ECB</b>	<a href="https://www.ecb.europa.eu/home/html/index.en.html">https://www.ecb.europa.eu/home/html/index.en.html</a>
<b>EMMI</b>	<a href="https://www.emmi-benchmarks.eu/">https://www.emmi-benchmarks.eu/</a>
<b>【スイス】</b>	
<b>NWG</b>	<a href="https://www.snb.ch/en/ifor/finmkt/fnmkt_benchm/id/finmkt_reformrates">https://www.snb.ch/en/ifor/finmkt/fnmkt_benchm/id/finmkt_reformrates</a>
<b>SNB</b>	<a href="https://www.snb.ch/en/">https://www.snb.ch/en/</a>
<b>FINMA</b>	<a href="https://www.finma.ch/en/">https://www.finma.ch/en/</a>
<b>SIX</b>	<a href="https://www.six-group.com/exchanges/index_en.html">https://www.six-group.com/exchanges/index_en.html</a>
<b>Eurex</b>	<a href="http://www.eurexchange.com/exchange-en/">http://www.eurexchange.com/exchange-en/</a>
<b>Eurex Clearing</b>	<a href="http://www.eurexclearing.com/clearing-en/">http://www.eurexclearing.com/clearing-en/</a>
<b>【米国】</b>	
<b>ARRC</b>	<a href="https://www.newyorkfed.org/arrc">https://www.newyorkfed.org/arrc</a>
<b>NYFed</b>	<a href="https://www.newyorkfed.org/">https://www.newyorkfed.org/</a>
<b>FASB</b>	<a href="https://www.fasb.org/home">https://www.fasb.org/home</a>
<b>ファニーメイ</b>	<a href="http://www.fanniemae.com/portal/index.html">http://www.fanniemae.com/portal/index.html</a>
<b>【国際】</b>	
<b>IOSCO</b>	<a href="https://www.iosco.org/">https://www.iosco.org/</a>
<b>FSB</b>	<a href="http://www.fsb.org/">http://www.fsb.org/</a>
<b>ISDA</b>	<a href="https://www.isda.org/">https://www.isda.org/</a>